

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 213

事務事業名	シルバーパワーアップ事業
-------	--------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	福祉保健部		
課名	長寿介護課		
課長名	山下 志朗	内線	89-201
担当者名	川嶋 富久	内線	89-201

基本目標		健康でいきいきと暮らせるまち
政策	020202	高齢者が暮らしやすいまちづくり
施策		高齢者の生きがいづくりと介護予防の推進
関連施策		

会計	介護保険事業特別会計		
款	4	保健福祉事業費	
項	1	保健福祉事業費	
目	1	介護予防事業費	
事業コード	020000	シルバーパワーアップ事業	

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画	大村市高齢者保健福祉計画	
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	誰(何)に対して事業を行うか			自立状態にある第1号被保険者で介護保険料を6ヶ月以上滞納していない者。		
意図	対象をどのような状態にしたいか			筋力は60歳をすぎると劇的に低下し、すばやい動作ができにくくなるため、転倒事故や閉じこもりの原因となり要介護化が進む引き金となる。この事業によって、トレーニングルームや屋内プールの利用を促進し、筋力トレーニングを継続的に実施することで筋力低下を防ぎ要介護化を予防するとともに、介護予防や健康管理に対する市民の意識の向上を目指す。		
事業概要	意図を達成するために実施することは何か			介護保険の第1号被保険者(65歳以上)で事前に登録された会員に対し、大村市体育文化センター・トレーニングルームの利用料を減免する。屋内プールを利用する会員に対し、講習会(健康講話・実技)を実施する。		
事業期間	15	年度	～ 平成	年度	実施方法	
根拠法令、要綱等	大村市介護保険条例第10条、介護保険法第115条の47					
国・県補助事業に係る本市単独施策	無					

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① シルバーパワーアップ倶楽部会員登録者数	計画値	1,113	1,254	1,380	1,380	
		実績値	1,254	1,380	1,215		
	年度末現在有効会員数	達成度	112.7%	110.0%	88.0%		
	② 会員によるトレーニングルーム利用者(延べ)数	計画値	9,313	9,313	9,313	9,313	
実績値		8,269	7,506	9,602			
		達成度	88.8%	80.6%	103.1%		
成果指標	① 登録利用者からの要介護者出現数	計画値	0	0	0	0	
		実績値	0	5	3		
	1回/月以上トレーニングルームを利用した月が平成25年度中にある会員のうち、要介護認定を受けた者の人数。	達成度					
	②	計画値					
実績値							
		達成度					

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	241	227	178	131	389	389	389	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	241	227	178	131	389	389	389	
② 人件費(千円)	795	529	1,308	3,073	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.10	0.07	0.17	0.13	自立状態の1号被保険者を対象とした、体育施設等を利用した筋力、水中トレーニング	自立状態の1号被保険者を対象とした、体育施設等を利用した筋力、水中トレーニング	自立状態の1号被保険者を対象とした、体育施設等を利用した筋力、水中トレーニング	
時間外勤務(時間)	1	0	8	0				
嘱託等人数(人)			0.05	1.15				
フルコスト(①+②千円)	1,036	756	1,486	3,204				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	後期高齢者の利用拡大を図る為、75歳以上の方の利用料を無料として、介護予防を推進した。
事業が抱える問題・課題等	包括支援センターの職員は講習会指導の補助にあっており、他事業の効率化が図れていない。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	介護予防に対する意識の向上は、本事業利用者数の増加をみても明らかであることから、必要性は高い。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	市が設置するトレーニングルーム及び屋内プールで事業を実施しているため、市の関与は必要である。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	75歳以上の方は会員登録せずに施設利用が無料になった事から、会員登録数は減少しているが、施設利用者数は増加している。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	運動機能の維持・向上を図る事で、要介護状態になる事を予防できるとともに、健康管理意識の向上に大きな効果がある。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし	削減の余地あり			該当なし	
	プールでの講習会を民間委託にし、人件費の削減を図る。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし	見直しの余地あり	該当なし			
	利用者負担をH20年度100円から、H21年度150円に見直しを行った。						

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性 その他の見直し

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	プールでの講習会を業者委託にし、人件費の削減、効率化を図る。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	人件費の効率化、縮減。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定		終期設定			
	意見等			内容		

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。